

お知らせ

より処「山紫」ではクリスマスシーズンに合わせて丸鳥揚げの販売を行います。お問合せ、お申し込みは山紫(89-8522)まで。

岩 沢 通 信

第83号

2018年5月25日創刊

発行 岩沢アチコタネーゼ・岩沢分館

岩沢地域振興協議会・岩沢福祉会

編集 石曾根 徹(地域づくり支援員)

名物イベント「サリマツかみ取り」復活



各地で収穫イベントが開催される中奮闘
時折激しい雨の降る中「秋の味覚 大収穫祭」が10月26日岩沢駅前通りを一部歩行者天国として開催された。
オーブンの午前10時には復活した収穫祭の目玉イベントであるサンマつかみ取りに参加者の行列がで、最高では20匹を掴む人も現れた。その他にも楽遊会の焼き芋、J2会

の芋煮、公民館のおかしすくいなど恒例の出店も。また長岡からはレールのキッチンカーやお隣十日町からはの場で調理する天井も販売された。アチコタネーゼの太鼓演奏やフラダンスが祭りを盛り上げた。県外からもインタンダンスや池田幸恵さんや鳥山仁さんもお手伝いを行なった。出店やアチコタネーゼのお手伝いを行なった。強力な助っ人として支えてくれた。

なつかし写真館

「グランツール・南」

平成24年(2012)7月29日

前年のプレイベントを経て正式開催となった第1回目の大会である。南部各地域が協力して、参加者のためにエイド(給水や食の提供)を運営した。これは若栃での写真。



健康長寿を願って25年

デイホームいわさわ設立記念

小春日和に恵まれた11月12日、デイホームいわさわ設立周年記念式典と懇親会が住民センターで行われた。

来賓に小千谷市の福祉課より渡辺英明課長、駒井和彦小千谷市議、長谷川正夫振興会長、佐藤和俊協議会長、小林大輔岩沢駐在をを迎え式典を挙げる。記念講演では小千谷市のにぎわい交流課担当者より、新しいAI乗合タクシーについて説明があった。

懇親会のアトラクションは土川魚沼神

社の大大神楽保存会から舞が披露された、最後の大黒様は元地域振興支援職員で岩沢を担当した久保田千昭さんが登場というサプライズもあった。



本物の音楽に触れる機会を

岩沢福祉会も協賛

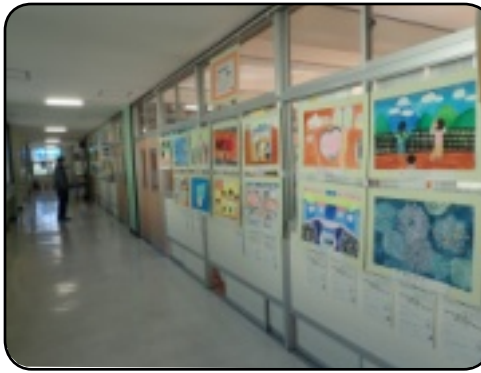
10月24日南小中学校「令和7年度音楽発表会」が体育館において開催された。

第1部では小学児童各学年から発表曲が披露され、最後は全児童で南小中学校校歌を合唱。第2部では中学生による校歌斉唱の後、学年ごとにピ

アノの伴奏に合わせて曲の発表があった。最後は、市内外で活動する「アンサンブルかのん」のグループがチェ

ロやフルートなどの楽器を駆使して、聞き覚えのあるクラシックやアニメ音楽を披露。途中南小中学校の郷正樹校長や南中学校の阿部由美子校長が飛び入りで楽器演奏を披露する場面もあった。

また、同時に校舎内では児童生徒の絵画作品展示も行われ、保護者が熱心に見入っていた。なお、この音楽会にはゲスト出演の謝礼補助として岩沢福祉会から協賛金が送られている。



地域からの要望で開催

南部地区除雪会議

みぞれ交じりの中、11月18日真人ふれあい交流館にて、南部地区の町内会長を対象とした道

路除雪説明会が小千谷市建設課と長岡地域振興局小千谷分室の担当者を迎えて開催された。市の担当者からは「市民、除雪業者、行政が協力し合って冬季間の交通確保を行っていただきたい」と挨拶。この後除雪業者による担当地区の紹介や令和7年度の道路除雪計画が説明された。意見交換では「町内会長には住民から様々な要望が行くと思います。自分たちで解決できるものは出来るだけ行いましょう」との発言や塩撒機で行っているロードヒーティングについての質問があった。折しも会議を終えて帰るころにはあたり一面白い雪に覆われて、今季初の積雪となった。



編集後記

筆者は小千谷地区交通安全協会の開催する原付免許講習会に講師として協力しているのですが、先日その会議の中でショックなことがありました。来春から教習時に使っている小千谷自動車学校のコースが使用できなくなる。正式では無いようですが小千谷自動車学校が閉校するとの噂が、私も聞き入りました。ホームページを見ると、降雪期の体制に支障があるため、あくまでも「冬季休業」となっています。10月31日で実技教習は終了して、高齢者講習も11月30日までの

こと。これも少子化の影響でしょうか。

例えば、最初にバイクや車(日産セドリック)コラムシフト)の学科と実技教習を行ったのが東小千谷の信濃川沿いにあった時の小千谷自動車学校。そして、大型自動車と大型特殊の実技教習を行ったのが現在ある場所の自動車学校で、小千谷の施設が。

